**別紙　発表者開示用　　（利益相反委員会　提出用）**

学術大会および学会誌報告に係る利益相反自己申告書にその内容を記入し、実施計画書、同意説明文書を添付し、日本褥瘡学会利益相反委員会へ**厳封のうえ**提出してください。

**日本褥瘡学会における学術大会および学会誌報告に係る利益相反自己申告書**

日本褥瘡学会利益相反委員会　委員長　殿

《　課題：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　》

《　審査を受ける者の立場：筆頭著者・筆頭演者・代表者・責任者・分担者》（いずれかに○をしてください）

**【 １ 】 　本人が本学会活動に関係する団体・企業からの得られる200万円以上の産学連携活動費、個人収入、エクイティ（株式およびその予約券の保有）、無償の役務提供、無償の機器提供の有無　(過去1年間)**

**有　　／　　無**

**【 ２ 】 　家族（生計を一にする配偶者及び一親等の者）が本学会活動に関係する団体・企業からの得られる200万円以上の産学連携活動費、個人収入、エクイティ（株式およびその予約券の保有）の有無　(過去1年間)**

**有　　／　　無**

 **【 １ 】【 ２ 】で 「 有 」 と回答した方のみ、以下の１～５（家族は１～３のみ）について、申告してください。**

本人・家族の別に○　申告する企業・団体等が複数あり１枚の用紙で記入しきれない場合は、別紙を添付しても可（様式随意）。

**1.産学官連携活動**（企業・団体ごとに記載）**(\*1)**

**本人　・　家族**　企業・団体名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　金額　　　　　　　　　　　万円／年

**2.個人収入**（企業・団体ごとに記載）**(\*２)**

**本人　・　家族**　企業・団体名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　金額　　　　　　　　　　　万円／年

**3．本研究に関連する企業のエクイティ (\*３)保有**

**本人　・　家族**企業名

**4．（本人のみ）本研究に関連する企業・団体からの無償の役務提供**

企　　業　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　具体的な内容

**5．（本人のみ）本研究に関連する企業・団体からの無償での機材等提供**

企　　業　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　具体的な内容

**(\*1)**産学連携活動とは、上記研究題目に関連する企業・団体との共同研究、受託研究、奨学寄附金の受入れ、学術指導、寄附講座・寄附研究部門（所属職員である場合）、技術移転、物品購入、兼業[ただし、兼業先が国、地方公共団体、独立行政法人、学校及び病院等（予防診断を含む医療行為を行う場合）を除きます]をいいます。　**(\*2)** 個人収入とは、報酬・給与・謝金、ロイヤリティ、原稿料、講演を指します。　　**(\*3)**エクイティとは、本申告日現在で保有している上記研究題目に関連する企業の株式、新株予約権等をいいます。ただし、公開企業の場合は5％以上の株式保有、未公開企業の場合は1株以上の保有を「有」とします。

**ヘルシンキ宣言に従って、本臨床研究に係る利益相反に関する状況は上記のとおりです。**

**平成　　　年　　　月　　　日**

**所属 　職名 　　　　　　 　 署名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞**